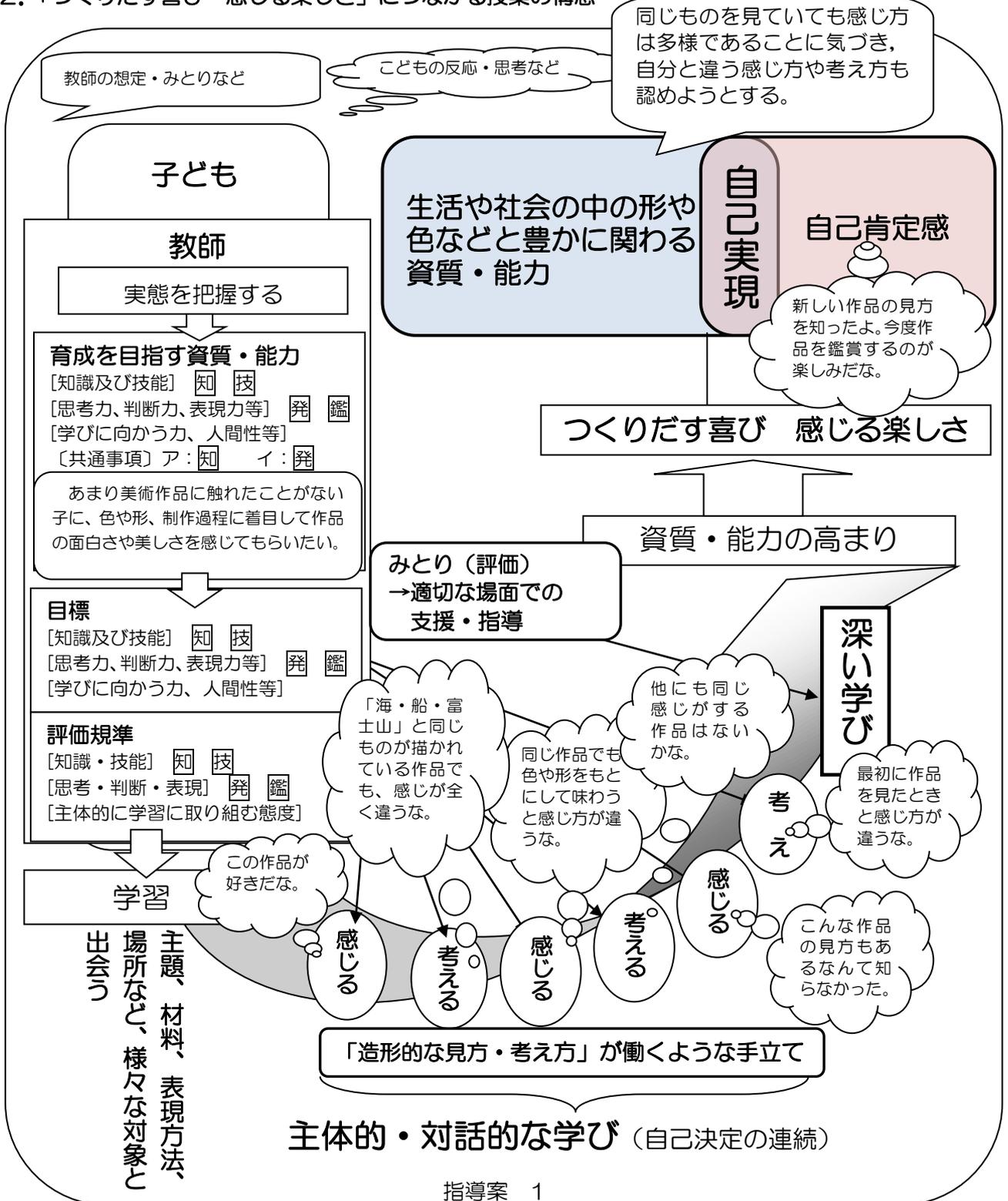


# 第4学年5組 図画工作科学習指導案

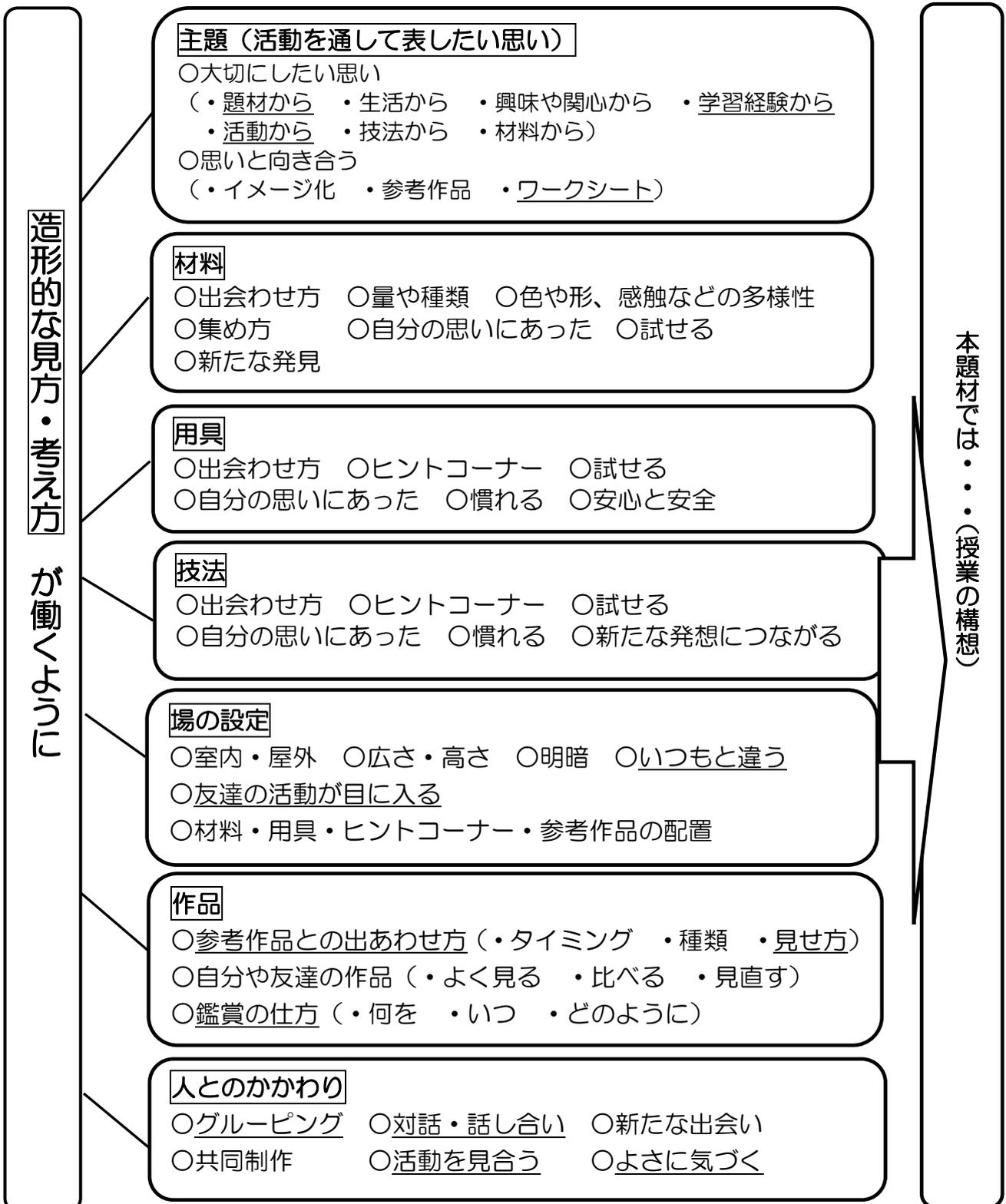
1. 題材名 「見つけた！すてきな名画～色・形などの感じを大切に～」 B鑑賞  
1時間（60分）

2. 「つくりだす喜び 感じる楽しさ」につながる授業の構想



### 3. 「造形的な見方・考え方」が働くような手立て

- ・「造形的な見方・考え方」を働かせながら、主題・材料・技法と関わることができるようにするために・・・
- ・「造形的な見方・考え方」を働かせながら、作品をつくったりみたりできるようにするために・・・
- ・「造形的な見方・考え方」を身につけ、生活に活かせるようにするために・・・



## 4. 活動場所 図工室

### 5. 題材観

#### I. 子どもたちの実態

本学級の児童は、36名（男子：18名、女子：18名）のクラスである。6月に行ったアンケートでは、「図工の学習が好き・どちらかというが好き」と答えた児童が36名と、図工の学習を楽しみにしている児童が多い。

今年度は4・5月に休校期間があり、休校期間中は「大すきな物語」の学習に取り組み、自分の大好きな物語の場面を絵に表す活動を行った。6月より学習が再開され、「おもしろアイデアボックス」の学習に取り組んだ。友だちの作品を鑑賞する活動では、「友だちの作品にタイトルをつけるとしたら」の視点で作品の鑑賞を行った。様子を見てみると、作品を表面的にしか味わえていない児童が多い。色や形をもとにして、作品を様々な視点で味わうことができている。また「どのように作品を見たらよいかのわからない」と悩んでいる児童の姿なども見られ、そもそもの鑑賞活動を自ら進んで楽しむことができない児童もいる。

本学級の児童は、一度経験したことがある活動や見通しがもてる活動に対してはのびのびと自信をもって取り組める子が多く見られる。しかし、経験したことの無い活動や見通しがもてない活動に直面すると、自信がなくなり思うように活動ができない子が多く見られる。そこで、まずは作品をより味わうために「どのような見方があるか」という、作品の味わい方の引き出しを増やす活動を考えたい。今回は「色や形」に着目し、そこから様々な視点で作品を味わえるようにしたい。

#### II. 題材と育成を目指す資質・能力

本題材では、新しく指導要領に含まれた「〔共通事項〕イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。」の力の育成を目指したい。

本学級の児童は「これは赤色だ」「これは丸だ」といった色や形そのものを見る視点はすでにもっている。しかし「これは赤色だ。だからあったかい感じがする。」「これは丸だ。だから楽しい感じがする。」といったような、色や形がもつ感じを感じ取る視点はまだ十分に育っているとは言えない。そのため今回の学習では、「色がもつ感じ」「形がもつ感じ」に着目して作品を鑑賞する目を養いたい。

また、1つの作品を様々な視点で見ることによって、作品から感じるものが変わること気づいている児童は数名である。そのため、同じ作品でも多種多様な見方をすることで、様々な感じ方があることも気づかせたい。

#### III. 造形的な見方・考え方が働くような手立て

～「つくりだす喜び 感じる楽しさ」につなげるために～

##### ①アートカードの活用

本題材では、平成27年度、令和2年度日本文教出版の3・4年生用アートカードを活用する。本アートカードは、中学年の学年目標である「ア 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。」〔共通事項〕イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。」に適した教材と言える。また、川崎市の小学校の中で比較的手に入りやすいものであることも本アートカードを活用する理由である。

初めての体験に対して思うように活動できない子が多く見られるため、昨年度の鑑賞の時間に一度目にしているアートカードを活用することで、警戒せず活動ができることも期待できる。

また、アートカードは絵画や彫刻等の様々な種類の作品が含まれている。今回は「色の感じ」「形の感じ」に着目して作品を鑑賞する力を養うために、立体の作品は除き、平面の絵画に限定した。立体の作品は、作品を写真に撮っていることで奥行きが感じられなかったり、背景がうつっているため背景の印象も作品の一部になってしまったりしているからである。

##### ②グループでの鑑賞

4人1グループで鑑賞をすることとする。1人では気づかなかった新たな作品の見方や感じ方の発見に繋げたい。また、一人で活動することに不安を感じる子も多いため、グループで活動することで安心して活動できるようにする。また、自分が選んだ作品について紹介したり友達の考えを聞いたりする言語活動を通して、鑑賞をさらに深めていきたい。

③作品を比較して鑑賞する

色や形のもつ印象や力を味わうために、児童が自然と色や形に着目できるような作品の見せ方を考えたい。今回はアートカードにある2つの作品を利用する。それは『神奈川沖浪裏』と『山中湖の暁』である。この2作品は描かれているモチーフが「富士山」「舟」「海」で同一となっている。そのためこれらを比較しながら鑑賞すると、描かれているモチーフではないところに差を見出す。それが「色や形」になることをねらっている。

④ウェビングマップを活用する

上記2作品を鑑賞して感じたことや思ったこと、気づいたことをクラス全体で共有するためにウェビングマップを活用する。A3 サイズに引き延ばした2枚の作品を貼り、視覚的にも友だち全員の鑑賞の様子が共有できるようにする。

IV. 学年の目標

＜第3学年及び第4学年＞

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	(2) 造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	(3) 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

V. 学年の内容及び共通事項

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
A 表現	(2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  ア 造形遊びをする活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切っつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくること。(技能)  イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫して表すこと。(技能)	(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるように指導する。  ア 造形遊びをする活動を通して、身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思いつことや、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えること。(発想・構想)  イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや用途などを考え、形や色、材料を生かしながら、どのように表すかについて考えること。(発想・構想)	内容の中には、「学びに向かう力、人間性等」にあたる内容はないので、各学年の目標を参考にする。  進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。
B 鑑賞		(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 身近にある作品などを鑑	

		賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。(鑑賞)	
共通事項	〔共通事項〕ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。(知識)	〔共通事項〕イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。	

## VI. 題材の目標

### (1) 知識及び技能に関する題材の目標

○自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。

### (2) 思考力、判断力、表現力等に関する題材の目標

○形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。

### (3) 学びに向かう力、人間性等に関する題材の目標

○つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。

## 6. 題材の評価規準 ～ 3つの観点から育てたい力を考える ～

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>知</b> 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。	<b>鑑</b> 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。	<b>主</b> つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。

## 7. 準備

[ 教師 ] アートカード×9セット、作品をA3に拡大コピーしたもの、テレビ、パソコン

[ 子ども ] 筆記用具、ワークシート

8. 指導と評価計画（本時）（60分）

時間	<p>◇子どもの活動 ・予想される子どもの反応</p>	<p>○教師のかかわり・手立て ◎造形的な見方・考え方が働くような手立て</p>	<p>評価規準□と 評価方法（ ）</p>
	<p>◇作品と出会う。 ・これ、見たことあるよ。 ・見たことのない作品もあるよ。 ・去年好きだった作品だ。</p> <p>◇好きな作品を選び、その理由を発表し合う。 ・今日の気分合っているからこの作品が好き。 ・海が好きだから、この作品が好きだな。 ・このオレンジの色が、好きだな。</p> <p>◇『神奈川冲浪裏』と『山中湖の暁』を見比べる。 ・『神奈川冲浪裏』と同じものが描かれている作品が他にもあるよ。 ・『神奈川冲浪裏』の富士山は、青いから冷たい感じがするよ。 ・『山中湖の暁』の富士山は、上の方がオレンジであったかい感じがするよ。 ・『神奈川冲浪裏』の波はトゲトゲしているから激しい感じがするよ。 ・『山中湖の暁』の波は、スーッと流れていて落ち着いているよ。</p>	<p>○児童に親しみのあるアートカードを見せ、活動に安心して取り組めるようにする。 ○1グループ4人程度で鑑賞をする。 ○ワークシートに最初に選んだ好きな作品の番号を書くよう伝える。</p> <p>○選んだ作品とその理由を数名に発表してもらうことを伝え、活動に見通しをもたせる。 ○色や形の感じを理由にしている子の意見が出なかった場合、教師から指名をし、本時の課題に迫れるようにする。</p> <p>◎「海・舟・富士山」というキーワードで『神奈川冲浪裏』の作品を鑑賞させ、同じキーワードが描かれている『山中湖の暁』を見つけられるようにする。 ◎『神奈川冲浪裏』と『山中湖の暁』を見比べ、同じ「海・舟・富士山」が描かれた作品でも、「色の感じ」「形の感じ」が違うことで感じ方が違うことに気づけるようにする。 ◎作品のどんなところに着目して鑑賞したのかをウェブマップにまとめて板書し、本時の課題に繋げる。 ◎同じ色や形でも受ける印象はそれぞれ違うことに気づけるようにする。</p>	
<p>「色や形の感じ方」を大切に、すてきな名画を探そう。</p>			
	<p>◇色や形の感じを大切に『山中湖の暁』に感じが似ている作品を選び、発表する。 ・この作品もこのオレンジの感じが穏やかな感じがして似ていると思うよ。 ・この作品も波が描かれて</p>	<p>○『神奈川冲浪裏』と『山中湖の暁』の色と形から感じたキーワードで作品を選ぶよう伝える。 ○「色や形のもつ感じ」に着目して作品を見られるようなテーマを扱う。 ○他のグループの見方や考え方も取り入れられるようにする。</p>	<p>鑑 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ</p>

<p>いて、さっきの『山中湖の暁』の波と同じようにスーッと流れていて、静かな感じがするから似ていると思うな。</p> <p>◇グループで作品を選んだ理由を話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 私はこの作品が似ていると思うな。この青い色が薄くなっている感じが穏やかな感じがして似ているなあと思うよ。</li> <li>• 私も同じ意見だよ。</li> <li>• 私は逆にこの青い色は、穏やかな感じではなくて「こわい」と感じたよ。</li> </ul> <p>◇初めに作品を見た時の見方と活動をした後の見方をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最初は今日の気分での作品を選んだけど、学習したら、こっちの作品の方が好きだと思ったよ。なぜかというと、このオレンジがあったかい感じがするから。</li> <li>• 最初も最後までこの作品が好きだな。でも、最初に選んだ時は、このトゲトゲした形は見ていなかったな。トゲトゲした形が強そうに見えるようになったよ。</li> </ul>	<p>○全体で数名の子の意見を聞き、その後グループで発表するようにし、発表したい意欲を消化できるようにする。</p> <p>○ワークシートに最後に選んだ作品の番号を書き、最初に作品を見た時にもう一度戻ること、自分の見方や感じ方が広がったか確認できるようにする。</p>	<p>方を広げたりしている。 (活動、発言、ワークシート)</p> <p>主 つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。 (活動、発言、ワークシート)</p> <p>知 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。 (活動、発言、ワークシート)</p>
---	--	--

「見つけた！すてきな名画」 名前：

「色や形の感じ」を大切にして、すてきな名画を見つけよう。

最初に選んだ作品の番号：

最後に選んだ作品の番号：

○最後にその作品を選んだ理由（心が動いたのは、どこだろう？）

○ふり返り